

リライニング・プレ・プライマー

【禁忌・禁止】

- ・本品の揮発蒸気には酢酸エチル等の有機溶剤が含まれているため吸引しないこと。

【使用上の注意】

- ・本品を使用する際には、局所排気装置を用いて換気を行なうこと。
 - ・本品を使用する際には、局所排気装置・保護眼鏡・医療用（歯科用）手袋・防毒マスクを着用すること。
 - ・付属の筆以外は使用しないこと。
- ※その他詳しくは添付文書の【使用上の注意】をよく読み、注意事項を守ること。

〈リライニング・プレ・プライマーの特徴〉

- ポリアミド系樹脂である「バイオトーン」に歯科用リライニング材及び即時重合レジンに接着することができます。

〈接着可能材料〉

軟性リライニング材（シリコン系）

- ・ソフライナー／ソフライナータフ（トクヤマデンタル社） ・ジーシーリライン（ジーシー社）
- ・エヴァタッチスーパー（ネオ製薬社） ・ムコプレソフト（白水貿易社）

即時重合レジン

- ・「イソファスト」をご使用下さい。「バイオトーン」義歯床と調和しやすい色調を揃えています。

〈リライニング材及び即時重合レジンの使用についての注意点〉

1. ポリアミド樹脂である「バイオトーン」は弾性のある樹脂ですので、リライニングにはシリコン系軟質リライニング材（裏装材）の使用をお勧めします。
2. 即時重合レジンを使用する際は、義歯が“たわむ”部分には使用しないで下さい。
“たわみが大きいポリアミド樹脂”と“たわまない即時重合レジン”との差で即時重合レジンに割れや、クラックが発生する場合があります。
3. 本材はポリアミド樹脂である「バイオトーン」とリライニング材や即時重合レジンとの接着剤です。
射出成形時の人工歯のプライマーとしてはお使いいただけません。

〈関連商品〉

リライニングサンド



リライニング・プレ・プライマーを使用したリライニング方法

歯科医院にて

1. 診査・診断 ●
口腔内をチェックします。

2. 顎堤粘膜の印象 ●
粘膜面の印象を取ります。



3. 石膏・注入 ●
印象面に石膏を注入して

● ※ポリアミド樹脂である「バイオトーン」義歯と印象材・適合試験材は接着しません。また、ティッシュコンディショニング材も粘着力でのみ着いた状態となりますので、粘膜面調整剤としては使用しないで下さい。

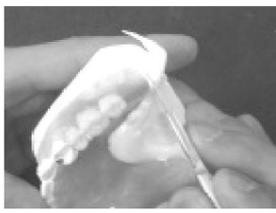
● **顎堤粘膜の印象採得について**
義歯粘膜面を一層削除後、義歯床をトレーとして用い咬合嵌合位で軽く咬合させて印象採得して下さい
● ※印象の際はシリコン系の印象材・適合試験材をお使いいただき、印象後口腔内より取り出し、印象材の浮き上がりや剥がれがない事を確認して下さい。(使用可能なリライニング材は2ページを参照して下さい。)
● ※ポリアミド樹脂である「バイオトーン」義歯と印象材は接着しません。

● ※印象に石膏を注入する際は、印象材の浮き上がりや剥がれがない事を確認して下さい。

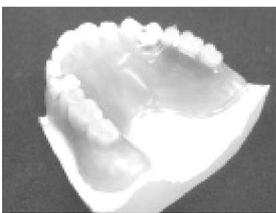
技工所にて



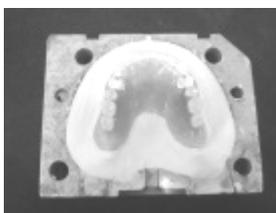
4. 模型をトリマーで調整します。



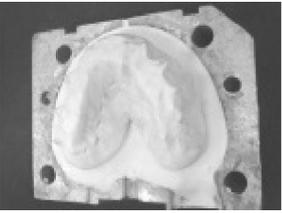
5. 印象材を削除し、義歯辺縁を調整します。



6. 不足分はワックスなどで補います。



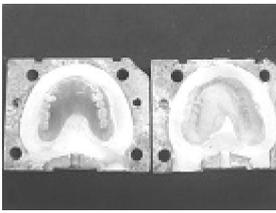
7. 下リン（フラスコの底部）に埋没します。分離材を塗布します。



8. シリコンパテでコーティングします。シリコンパテにはアンダーカットになるように、維持を漬けてください。



9. 上リン（フラスコ上部）をボルトで止めてから、二次埋没石膏を流し込みます。



10. 二次埋没石膏が硬化後、開リンします。



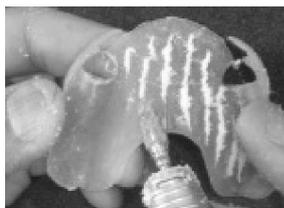
11. 義歯の粘膜面の印象材を取り除きます。



12.石膏の表面に石膏表面硬材を塗布します。これは、リライニングしたシリコン表面を滑沢にするためです。



13.義歯の裏装する面を、リライニング材のスペースを考慮して溝を掘ります。



14.溝同士が平坦になるように切削します。これにより、リライニング材のスペースを確保します。



15.「リライニングサンド」でサンドブラスト処理を行います。



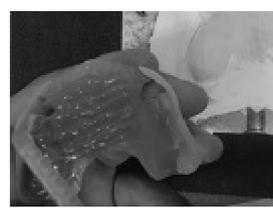
16.中性洗剤とブラシで洗浄し水洗いして、超音波洗浄機で洗浄します。



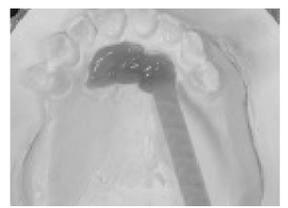
17.「リライニングプレプライマー」を2回塗布します。1回目を塗布して30秒後2回目を塗布してください。**塗布後は必ず40分以上放置してください。**



18.**シリコンリライニング材の専用プライマーを塗布します。**※塗布方法はメーカーの指示に従って行い、裏装面をオーバー目に塗布してください。



19.シリコンリライニング材を義歯裏装面に盛り付けます。



20.シリコンリライニング材を模型面にも盛り付けておくと、気泡の巻き込みが少なくなります。



21.気泡が入らないように模型に圧接していきます。



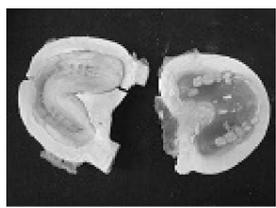
22.リライニング材の余剰分を削除します。



23.上リン（フラスコ上部）を義歯が安定するようにかぶせます。



24.フラスコのボルトは前歯部方向から締めます。**フラスコを開けてから必ず1時間以上放置してください。**



25.**1時間以上放置後**、フラスコを開リンします。**※1時間以内に開リンするとリライニング材との接着が弱い場合があります。**



26.リライニング材メーカーの指示に従い、研磨します。**※研磨の際に、辺縁部のリライニング材が剥がれないように注意してください。**



27.完成。